

リスキリングのすすめ

How to

<https://www.pref.gunma.jp/site/reskilling/>



かわら版

2024
創刊号

創刊号「リスキリングのすすめ（かわら版）」 第1回目のテーマはズバリ！「リスキリングって何？」

群馬県では、令和6年度から「DX人材リスキリング推進事業」として、**県内企業へのリスキリングの定着・拡大を図るため、リスキリングに積極的に取り組むモデル企業を発掘し、モデル企業の取組からリスキリングの成功事例を創出し、県内に広く発信していく事業を実施しています。**

この度、その情報発信の一つとして「リスキリングのすすめ（かわら版）」創刊号の発行にあたり、そもそも「リスキリングとは何？」をテーマに、リスキリングの必要性・重要性に迫ります！

【リスキリング（reskilling）って何？】

- 最近、皆さんの中には、新聞やテレビのニュースなどから、一度は「リスキリング」という言葉を耳にした方もいるかと思います。しかしながら、その説明の多くは、「リスキリングは個人の自己啓発や転職や再就職に向けた学び直し」と説明され、**リスキリングは個人で実施するべきものだという誤解が生じています。**
- リスキリングとは、「**新たな業務に必要となるスキル・知識を習得すること／させること**」です。新たな業務は新たなビジネスから生まれ、そのビジネスを実施する主体は企業です。つまり、**リスキリングは企業が主体となって推進する人材育成の施策**です。（ここがポイントです💡）

だから・・・

群馬県では、特に、**企業主体のリスキリング**を「DXへの対応、新たな事業分野への挑戦など、企業が成長し続けるために、企業が実施責任を持ち、従業員に対して今後必要となる新しい知識やスキルを学ばせること」と定義して推進しています。

【なぜリスキリングが必要？】

- コンピューターやAIの技術が急速に進む中、社会や仕事の仕組みも変わっています。また、深刻な人手不足もあり、**企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化**しています。
- 企業がこの変化に対応していくためには、経営戦略を見直し、それに合わせた人材育成の計画を立て、実行する必要があります。その方法の一つが「リスキリング」です。



生成AIやロボットなど
日々進化を遂げる技術



企業は変化の荒波への対応が急務



深刻な人手不足

【企業はどのようにリスキリングに取り組んでいくべきか？】

💡 企業主体のリスキリングの鍵は以下の手順を踏むことが重要だと言われています。

<その1> まずは、企業の経営層が自社の経営戦略を見直しましょう

例えば、、自社の将来の方向性や中長期的な経営戦略の策定・見直しを検討

<その2> 次にリスキリングの方針を決定しましょう

例えば、、人材戦略の策定・リスキリングの方針決定（学ぶスキルを明確化）
※経営層から従業員に丁寧に説明することが重要です。

<その3> リスキリングを推進する環境を整えましょう

例えば、、就業時間内にリスキングの時間の確保、リスキリングの予算確保など

<その4> リスキリングの機会を提供しましょう

例えば、、eラーニングなどの外部研修サービスを活用した研修機会の提供など

<その5> リスキリングで習得したスキルが職場で活かせる環境を整えましょう

例えば、、習得したスキルを評価する仕組みや業務に活かす人材配置など

創刊号で一番お伝えしたいことは、次の2点です（これだけでOK）。

・**リスキリングは企業が主体となって推進する人材育成施策。**

・**リスキリングは業務の一部であり、会社がコミットする（個人任せにしない）。**

次回以降（第2号～）は「群馬県DX人材リスキリング推進事業」の参加企業の声や、企業主体のリスキリングに取り組む際のヒントを具体的にお伝えしていきたいと思いますので、乞うご期待ください！！

リスキングを広めたい
担当職員 O



問合せ先：群馬県 産業経済部 労働政策課 人材活躍支援室 リスキリング推進係

✉ rouseika@pref.gunma.lg.jp ☎ 027-226-3403